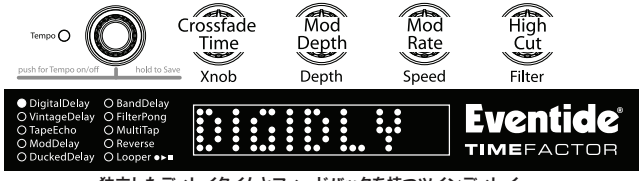
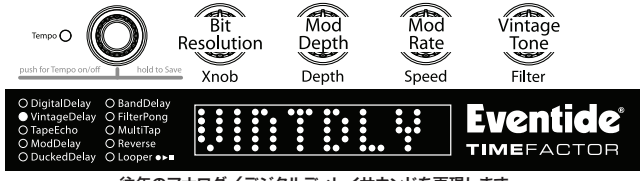
© 2007 EVENTIDE INC., ONE ALSAN WAY, LITTLE FERRY, NJ 07643 USA **WWW.EVENTIDESTOMPBOXES.COM**

TIMEFACTOR QUICK REFERENCE GUIDE

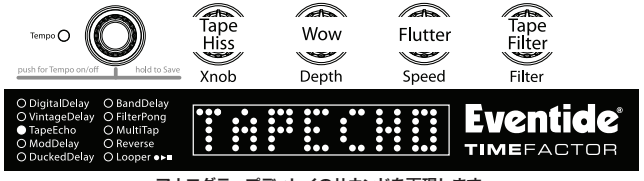
THE EFFECTS



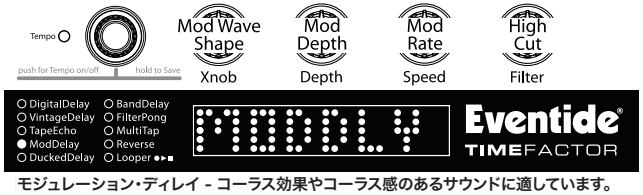
独立したディレイタイムとフィードバックを持つツインディレイ。



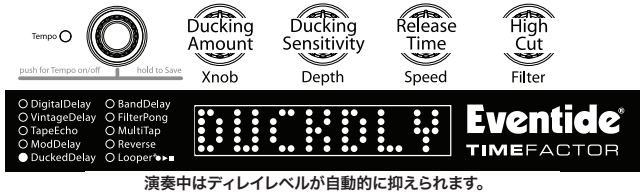
往年のアナログ／デジタルディレイサウンドを再現します。



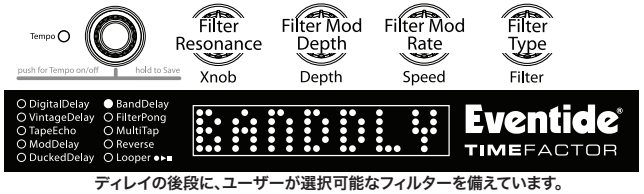
アナログテープディレイのサウンドを再現します。



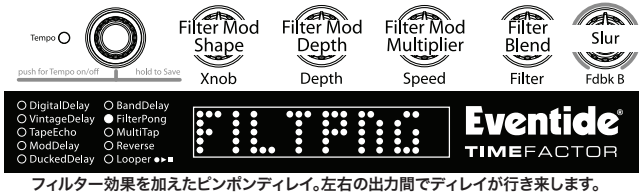
モジュレーション・ディレイ - コーラス効果やコーラス感のあるサウンドに適しています。



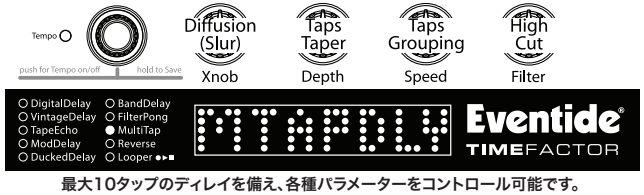
演奏中はディレイレベルが自動的に抑えられます。



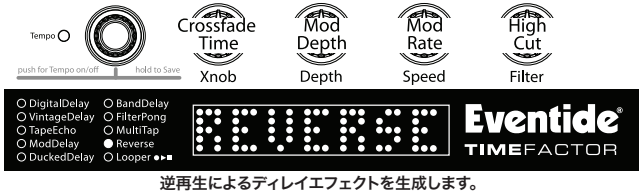
ディレイの後段に、ユーザーが選択可能なフィルターを備えています。



フィルター効果を加えたピンポンディレイ。左右の出力間でディレイが行き来します。



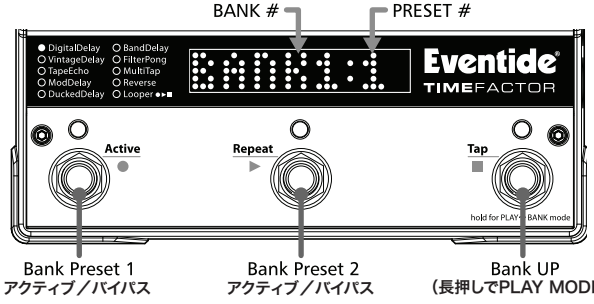
最大10タップのディレイを備え、各種パラメーターをコントロール可能です。



逆再生によるディレイエフェクトを生成します。

BANK MODE ⟷ PLAY MODE

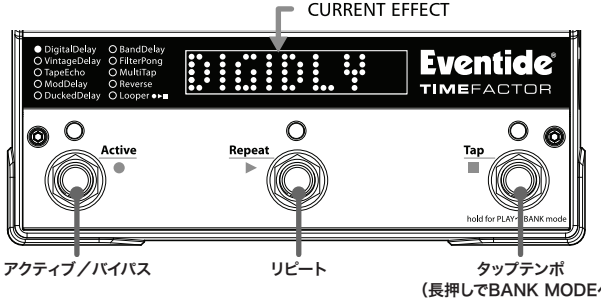
フットスイッチを使用してプリセットの選択およびバイパスを行います。
プリセットは2つ1組で保存され、この組を「バンク」と呼びます。10バンク、合計20のプリセットが用意されています。



右フットスイッチを約2秒間長押しすると、BANK MODEとPLAY MODEが切り替わります。

Encoderノブを回すことで、BANK MODEおよびPLAY MODEの両方でロードされるエフェクトを変更できます。

フットスイッチを使用して、バイパス、無限リピート、およびタップテンポを操作できます。



TEMPO MODE

Encoderを押すことでTempoのON／OFFを切り替えます。TempoがONのときは、Tempo LEDがテンポに合わせて点滅します。
TempoがOFFのときは、Tempo LEDは消灯します。
TempoがONの場合、DLY Time AおよびBは拍のリズム分割単位で設定されます。つまり、ディレイタイムはミリ秒（ms）ではなく、音符単位で設定されます。
NOTE: TempoのON／OFFに関わらず、Tapフットスイッチを操作すると、DLY Time AおよびBはタップしたテンポに基づいた同じディレイタイムに設定されます。

プリセットの保存方法

1. Encoderを数秒間長押しします。
2. Encoderを回して、保存先のBank番号とPreset番号を選択します。
3. プリセットを保存するには、再度Encoderを長押しします。ディスプレイに「SAVED」と表示され、保存モードが終了します。
4. 保存せずに終了するには、Encoderを短く押すか、いずれかのフットスイッチを押します。保存せずに終了した場合、ディスプレイには「NO SAVE」と表示されます。

NOTE: 新しいプリセットを保存すると、既存のプリセットは上書きされます。

TIMEFACTOR QUICK REFERENCE GUIDE

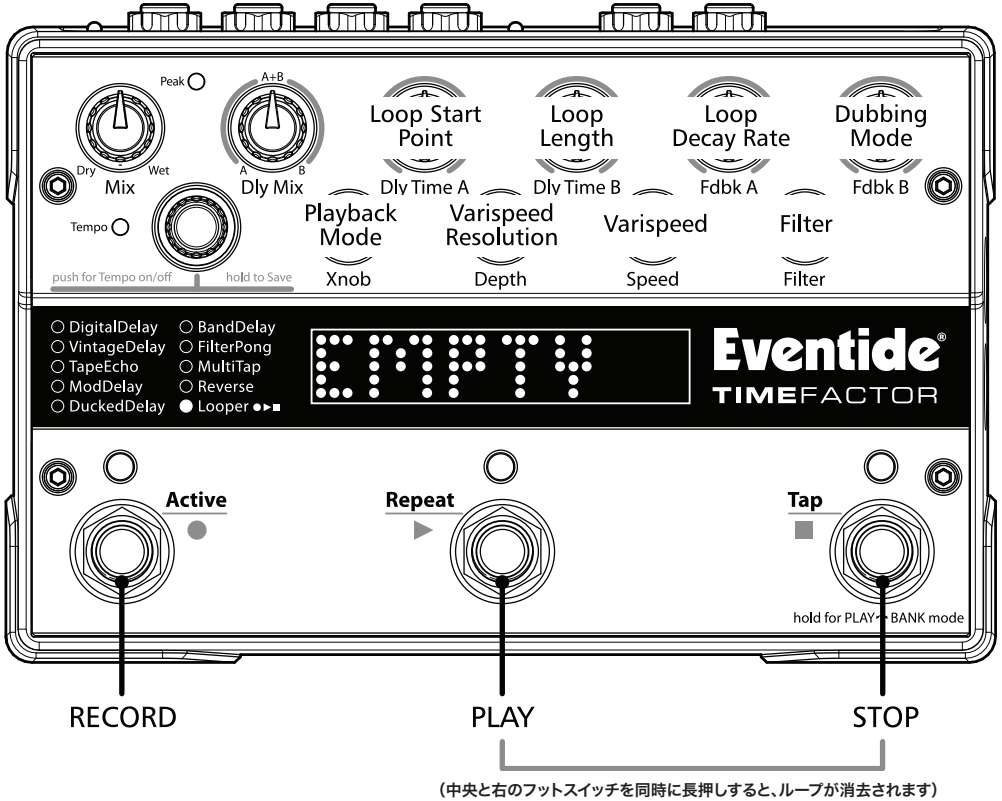
© 2007 EVENTIDE INC., ONE ALSAN WAY, LITTLE FERRY, NJ 07643 USA **WWW.EVENTIDESTOMPBOXES.COM**

LOOPER

Part # 141132 Rev A

PLAY MODEでのLooper操作

ステレオ入力時は、入力信号が自動的にミックスされ、その合計信号がLooperの入力として使用されます。
Looperの出力は、左右両方の出力に同一の信号を送出します。



（中央と右のフットスイッチを同時に長押しすると、ループが消去されます）

Mixノブ ドライ音（入力信号）とLooper再生音のミックスバランスを調整します。

Dly Mixノブ Looperでは使用されません。

Dly Time A／Loop Start Pointノブ ループの開始位置を、0msからループの終端まで設定できます。

Dly Time B／Loop Lengthノブ ループが空の状態で、ループの長さを設定します。最大の長さはSpeedパラメーターの設定によって決まります。

Fdbk A／Loop Decay Rateノブ 通常再生には影響せず、ダビング時のみ機能します。0%ではループは減衰せず、100%ではダビング時に既存の音が1周ごとに完全に消去されます。つまり、ループ音は1回のみ再生されます。

Fdbk B／Dubbing Modeノブ ダビングモードを設定します。
[D:LATCH]：ダビングのON／OFFを切り替えます。音は加算されます。
[D:PUNCH]：操作している間のみダビングを行います。音は加算されます。
[D:REPL-L]：ダビングのON／OFFを切り替えます。音は置き換えられます。
[D:REPL-P]：操作している間のみダビングを行います。音は置き換えられます。

Xnob／Playback Modeノブ 再生モードを設定します。
[P:ONCE]：ループを1回再生します。
[P:LOOP]：ループを繰り返し再生します。
[AP:LOOP]：録音終了後、自動的に再生を開始しループ再生します。

Depth／Varispeed Resolutionノブ 再生速度の分解能を設定します。
[SMOOTH]：1%単位で調整
[OCTAVES]：オクターブ単位
[OCT+5TH]：オクターブ+完全5度
[DOM7TH]：ドミナント7th構成音
[CHROMATIC]：半音単位

Speed／Varispeedノブ ループが空のとき、録音速度を設定します。
[SPD:2X]：2倍速（最大6秒）
[SPD:1X]：通常速度（最大12秒）
[SPD:1/2]：半速（最大24秒）
[SPD:1/4]：1/4速（最大48秒）
ループ録音後は、再生およびダビング時の速度をコントロールします。

Filterノブ Looperの入力および出力にかかるフィルターを調整します。左に回すと低域をカット、右に回すと高域をカットします。

EXPRESSION PEDAL

設定方法：
1. ペダルをトウ側またはヒール側に動かします。
   エフェクトLEDが点滅し、ペダル設定が有効（Live）であることを示します。
2. ノブを割り当てるには：
   ヒール側いっぱいの位置でノブを回します。
   トウ側いっぱいの位置でもノブを回します。
3. ノブの割り当てを解除するには：
   ヒール側とトウ側の両方で同じ値に設定します。
4. 設定は保存しないと失われます。
   ペダルの割り当てはプリセットと一緒に保存されます。

Expression Pedal controlling a single parameter will display the parameter name and value as if you were turning the Control Knob.



Expression Pedal controlling multiple parameters will display the pedal value (from 0 to 100) and the parameter Knobs shown as dots.



When the Pedal is used, the column above each dot is used to indicate that the Pedal is controlling that parameter.

